

平成28～29年度 文部科学省から

「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの  
学習・指導方法の改善のための実践研究」拠点校に指定されました

### アクティブ・ラーニングとは、主体的・対話的で深い学びのこと

Q: アクティブ・ラーニングって? グループワークばかりして学びが少なくなるの?

A: アクティブ・ラーニングとは、積極的に考えたり、知ろうとしたりするような、脳が活性化した状態で学ぶことをいいます。目が輝いて授業を受けているような状態のことです。

文部科学省では「**主体的・対話的で深い学び**」という表現を使っています。

Q: 大学入試の変化に対応しているの?

A: センター試験に替わる「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」や次期学習指導要領を視野に入れた学習・指導方法の工夫改善を行っています。

本校では、「活動あって、学びなし」という状況に陥ることなく、さらなる生徒の学力向上を目指していきます。

### 道央ブロック研究大会には全道から参加者が

平成28年12月7日、本校を会場に全道から約100名の先生方が参加して、道央ブロック研究大会が開催されました。北海道大学特任准教授の山本堅一先生による基調講演、続いて、国語・日本史・数学・物理・英語の授業公開、午後からは、主体的・対話的で深い学びに関する研究協議を行いました。



← 基調講演



→ 公開授業

### SPARK 委員会

本校では SPARK 委員会という組織をつくり学校全体で取組を始めています。SPARK とは火花、ひらめき、活気、才気という意味で、Student, Partnership, Active-learning, Research, sapporo-Kita の頭文字からなります。

この SPARK 通信は、生徒・保護者の皆様に本校における取組を紹介することで、本研究の趣旨や実践の成果を共有・普及するために発行する学校通信です。不定期に発行し、本校の Web ページにも掲載します。

(文部科学省)「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの  
学習・指導方法の改善のための実践研究」拠点校

北海道札幌北高等学校

<http://www.satsukita.ed.jp/>

〒001-0025

北海道札幌市北区北25条西11丁目

